

# 信愛こども発達支援センター

医療型児童発達支援・児童発達支援評価表  
放課後等デイサービス評価表

結果報告

令和5年2月1日

令和4年11月に、信愛こども発達支援センター利用の保護者の方を対象に【アンケート調査】を行い、回答を頂きました。貴重なご意見ありがとうございました。アンケートを公表すると共に真摯に受け止め、業務改善を図っていきたいと考えております。また、アンケート調査は毎年義務付けがあり、今回は令和4年11月に行う予定ですので、よろしくお願い致します。

事業所名	契約者数	回答数	回答率
医療型児童発達支援・児童発達支援	10	9	90%
放課後等デイサービス	15	10	67%

## \* 医療型児童発達支援・児童発達支援結果報告 \*

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	今後の改善点
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%					
	2 職員の配置等や専門性は適切だと思いますか。	100%					
	3 事業所の設備等は、安全かつ使いやすくなっていますか。また、バリアフリー化の配慮が適切にされていますか。	100%					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子供たちの活動に合わせた空間となっていますか。	100%					
保護者への説明等	5 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	6 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された個別支援計画を示しながら、支援内容の説明がありましたか。	100%					
	7 個別支援計画は子どもや保護者のニーズ、課題に基づいて作成されていると思いますか。	100%					
	8 日頃から子どもの状況を保護者の方と伝えあい、子どもの健康状態や発達の状況、課題について共有理解できていますか。	100%					
	9 定期的に保護者の方に対して保護者に対して面談や、育児に対する助言等の支援が行われていると思いますか。	89%	11%				
	10 親子参加での活動行事等の開催により、保護者同士の交流が支援されていると思いますか。	45%	22%	22%	11%		感染防止対策のため、親子参加行事が開催できていません。母子通園時にお話が出来るよう曜日を配慮させて頂いています。
	11 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応していると思いますか。	68%			32%		・前期(9月)後期(1月)に定期面談を行い意見を伺い対応させて頂いてます。また、普段から来所時に保護者の方にお声掛けをするように心がけています。
	12 定期的にクラスだよりや広報、ホームページ等で活動の内容が発信されていると思いますか。また、自己評価の結果を子どもや保護者に発信していると思いますか。	89%	11%				
適切	13 子どもや保護者のニーズや支援課題が客観的に分析されたうえで、個別支援計画が作成されていますか。	100%					
	14 個別支援計画には児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	89%			11%		

通常の支援の提供	15	個別支援計画に沿った支援が行われていますか。	100%					
	16	日々の活動が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	89%	11%				
	17	日々の健康観察や個々に合わせた医療的ケアなど、健康面に配慮していると思いますか。	89%			11%		
	18	「※社会参加や地域との交流」などを通して地域とのかかわりを持つ機会があると思いますか。 ※散歩や遠足、施設が実施する地域交流のイベント(周年祭)のことです。	45%	11%	22%	22%		・コロナウイルス感染症流行に伴い施設外への外出が困難な状況です。施設内庭や畑での活動等、季節を感じるような野外での活動も取り入れています。今後、状況が落ち着くの見計らって散歩等の戸外活動を積極的に計画していきます。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されていると思いますか。	78%			22%		
非常時の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し保護者に周知・説明され知りますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	33%				66%	感染症マニュアルに関してはこのコロナ過で随時変更を行っており、問い合わせの都度説明をする形になっておりました。周知の仕方については改善を図っていきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、「その他必要な訓練が行われていると思いますか？	45%		11%	45%		防災訓練を今年度1回行いました。持ち物チェック表を基に必要な荷物を持つての避難訓練をしました。今年は施設内訓練のみですので、今後は引き渡し訓練等保護者と連携して行えるよう企画をしていきます。
満足度	22	心配なこと、不安なことを職員に話しやすいと思いますか。	100%					大半の方から満足いただけている回答を頂きありがとうございます。職員一同大変喜んでおります。今後もこれを励みにお子さんの笑顔と保護者の安心をたくさん得られるよう、一層努力していきます。
	23	楽しく通園を利用していると思いますか。	100%					
	24	子どもさんを安心して預けたいと思いますか。	100%					
	25	今後も通所を利用したいと思いますか。	100%					
	26	事業所の支援に満足していますか。	100%					

ご意見 ～自由記載より～	今後の改善点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ過でなかなか保護者同士の交流や地域とのかかわりの機会が持てないですが、日々いろいろな活動を考えてやっていたいので子どもも楽しく過ごせているので官署しています。</li> <li>・職員の皆さんもとても親切で優しい方ばかりなので安心して通わせることが出来ます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがとうございます。今後も利用されている子ども達とご家族のサポートが出来るように務めさせていただきます。</li> </ul>

\* 放課後等デイサービス結果報告 \*

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見	今後の改善点
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	90%			10%		
	2 職員配置数や専門性は適切ですか。	60%	20%		20%	・常勤看護師が少ない	法令で必要とされる配置基準は満たしていますが、常時見守りが必要な子どもへの支援等のためにも常勤看護師は必要ですので、確保に努めます。
	3 事業所の設備等はスロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされていますか。	100%					
	4 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
保護者への 説明等	5 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解が出来ていると思いますか。	100%					
	6 保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われていると思いますか。	100%					
	7 親子参加での活動行事等の開催により、保護者同士の交流が支援されていると思いますか。	40%	30%	10%	20%	・今はコロナで出来ていない。 ・兄弟の参加が出来ず出席できない。	現在、感染防止のために親子参加の活動行事は実施できていませんが、今後コロナ感染が落ち着いた際には、親やきょうだいの行事参加も考えて行きます。
	8 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備すると共に、子どもや保護者に周知・説明し、申し入れを迅速かつ適切に対応していると思いますか。	80%			20%		
	9 定期的にクラスだよりや広報、ホームページ等で活動の内容が発信されていると思いますか。	100%					
適切な 支援の 提供	10 子どもと保護者のニーズや発達課題が客観的に分析されたうえで、個別支援計画が作成されていますか。	100%					
	11 日々の活動が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	80%	10%		10%		
	12 日々の健康観察や個々に合わせた医療的ケアなど、健康面に配慮していると思いますか。	100%					
	13 「※社会参加や地域との交流」などを通して地域とのかかわりを大切にしていると思われますか。 ※散歩や遠足、施設が実施する地域交流のイベント（1周年夏祭り）のことです。	50%	20%		30%	・コロナに対する対応がころころ変わりすぎてわからない。	感染防止対策の変更等については、問合せの都度説明をする形になっていますが、今後、変更点などの周知方法についての改善を図っていきます。
	14 職員は個人情報の取り扱いに十分注意されていると思いますか。	90%			10%		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者の方に周知・説明されていますか。	70%	10%		20%		全体のマニュアルだけでなく今年度は、個別の対応が必要な利用者に緊急時対応マニュアルの作成をし、訓練を実施しました。今後も必要に応じて対応していきます。
	16 非常災害時に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。	70%	10%		20%		防災訓練を今年度1回行いました。持ち物チェック表を基に必要な荷物を持つての避難訓練をしました。今年は施設内訓練のみですので、今後は引き渡し訓練等保護者と連携して行えるよう企画をしていきます。
満足 度	17 心配な事、不安な事を職員に話しやすいと思いますか。	90%	10%				大半の方から満足いただけている回答を頂きありがとうございます。職員一同大変喜んでおります。今度もこれを励みにお子さんの笑顔と保護者の安心をたくさん得られるよう、一層努力していきます。
	18 楽しくデイサービスを利用していると思いますか。	90%			10%		
	19 子どもさんを安心して預けられますか。	100%					
	20 今後も通所を利用したいと思えますか。	100%					
	21 事業所の支援に満足していますか。	90%	10%				

ご意見 ~自由記載より~	今後の改善点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・話しやすく信頼できるので安心して預けています。泣くと抱っこしてくれたり本人が安心するのを助かっています。</li> <li>・10月頃から冬にかけて日が暮れるのが早いため駐車場が真っ暗になる。今ある電灯だけでは暗すぎる。</li> <li>・祝日に午前中から利用できるようなして欲しい</li> <li>・遠足のような行事があっても良いと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがとうございます。一人ひとりに目を向けて支援できるように、また放デイで様子を出来るだけお伝えするように今後も心掛けていきます。</li> <li>・ご迷惑をおかけしてすみません。現状では改修の予定はございません。次期改修時に検討させていただきます。</li> <li>・運営上午前中からの放課後等デイサービスの営業は困難でございます。ご理解ください。</li> <li>・貴重なご意見ありがとうございます。利用者の保護者の方の意見を伺いながら検討して行きたいと思っております。</li> </ul>

# 信愛こども発達支援センター

事業所における自己評価結果 公表

医療型児童発達支援・児童発達支援

放課後等デイサービス

令和5年2月1日

2023年1月に、信愛こども発達支援センター職員を対象に【事業所における自己評価】を行いました。

自己評価の結果と改善点を公表すると共に改善を図っていきたくと考えております。

## \*事業所における自己評価結果\*

医療型児童発達支援・児童発達支援

	チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点/課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が機能訓練室等スペースとの関係が適切である。	100%			法令を遵守したスペースを確保しています。活動内容により安全に配慮しながらスペースの有効活用に取り組んでいきます。
	2 職員の配置数は適切である。		83%	17%	職員配置基準は順守していますが、常時見守りが必要な子どもへの支援等のために、余裕はなく、準備等で休憩時間も削らざるを得ない現状です。常勤専門職確保や職員研修などによるスキルアップを図るとともに、必要な時間帯への職員増に努めます。
	3 生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている。	83%	17%		信愛こども発達支援センターは重症心身障害児・肢体不自由児が主に通う施設なので、生活空間につきましては、感染対策の視点から衛生面を重視しております。フロアやトイレなどの生活空間は全てバリアフリー化されており、バギーに乗車したまま過ごすことができます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか、また子どもたちの活動に合わせた空間となっている。	100%			サービス提供時間中は換気を行っています。また、使用した玩具や椅子、机、マット類は全て使用後に除菌クロスで消毒をしています。職員全員感染症対策の研修に参加しております。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している。	50%	17%	33%	業務改善の為、必要時に職員で会議を開いています。また、法人内のQC活動への参加や、業務改善への取り組みを行っています。
	6 保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施すると共に、保護者等の意向等を把握し業務改善につなげている。	83%		17%	年1回保護者向けアンケート調査を実施しております。貴重なご意見ありがとうございます。今後もご意見、ご要望にお応えできるよう業務改善に取り組んでいきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うと共に、その結果による支援の質の評価及び改善の内容をホームページ等で公開している。	67%		33%	令和5年3月にホームページにて公表を予定しております。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	33%	17%	50%	第三者による外部評価ではありませんが、内部による自己評価を行っております。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	100%			内部研修・外部研修と様々な研修があり、内部研修の必須項目についての研修は全員参加しています。外部研修についてはコロナ禍ではWEB研修が多いです。一人1回の参加出来るように計画しております。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。	83%		17%	定期的にアセスメントを行い、個別支援会議を開催し意見を参考に個別支援計画の作成をしております。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	67%	17%	17%	発達検査などのアセスメントツールは活用しておりません。しかし、リハビリを利用されている方に関しては個別支援会議に担当職員に参加してもらい情報共有をさせて頂き、発達支援の参考にしております。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されている。	83%		17%	ガイドラインに基づき、一人一人の発達段階を把握しながら支援の提供を行っております。保護者の方とモニタリングを行い、その後利用者支援している職員、リハビリ職員等で支援会議を行い、支援計画を立てています。今後より一層支援目標を明確にし、支援の提供を行っていきたくと考えております。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている。	67%		33%	担当職員は個別目標を意識して支援に取り組み、全職員が共通した支援を行えるように出来る限り伝え、支援しています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている。	17%	50%	33%	保育士・児童指導員と共に1ヶ月の活動計画を立てた後、週案にて日々の活動計画を立てて実践しております。
	15 活動プログラムが固定化されないよう工夫している。	67%	17%	17%	季節の遊びを取り入れながらリハビリスタッフにも相談し楽しみながら子供達の成長に繋がるような療育活動を考え立っています。今後も継続して行きたいと思っております。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している。	67%		33%	個別活動では、生活に必要なことを身につけることを目標にしており、一人一人の発達段階を把握しながら個別支援計画を作成しております。
	17 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している。	50%		50%	朝のミーティングにて当日の支援の内容や役割分担について確認した後、支援業務を開始しております。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している。	17%		83%	業務の都合上、翌日の朝のミーティングにて共有や振り返りをしています。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	83%		17%	個別の記録や健康管理については電子カルテにて記載しております。また、集団活動に関しては週案にて記録をし、支援の検証・改善に努めております。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。	83%		17%	定期的にモニタリングは行っております。子どもの発達状況、体調の変化や移行への状況によっては見直しの時期を早める場合があります。
21 児童発達支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	100%			サービス担当者会議は児童発達支援管理責任者、もしくは個別支援計画を担当している職員が出席しております。医療的ケアのある場合には看護士も出席しております。	

関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている。	83%		17%	保健センターや子育て支援課などの機関と連携をし、情報交換を行っております。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている。	67%		33%	保健センターや子育て支援課、福祉課や基幹相談支援センターなど様々な地域の関係機関との連携をしております。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている。	67%		33%	主治医による診療情報提供書にて医療的ケアの状況を確認し、連携を図っております。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を測っている。	67%		33%	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等の間で直接情報交換は行っておりませんが、アフターフォローという形で訪問等の移行支援を行っております。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報交換と相互理解を図っている。	33%		67%	小学校や特別支援学校との間で直接情報交換は行っておりませんが、アフターフォローという形で訪問等の移行支援を行っております。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	33%		67%	コロナ禍においては縮小した会議で行っており参加しておりませんが、必要時は担当者からの報告を受けております。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある。		67%	33%	保育園や幼稚園等で活動として交流するのは、サービス提供時間上では難しいです。しかし信愛には職員対象ではありますが施設内保育所があります。保育所の子どもたちとの交流を検討していきたいと思っております。
	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している。			100%	今年度はコロナ禍で会議が縮小されているために参加しておりませんが、必要時には報告があり、対応しております。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%			単独利用のお子さんについては来所・退所時に保護者の方と直接お話ししたり、連絡帳で利用時の様子をお伝えしています。母子利用の方にはその場で情報共有しています。また、モニタリング時にも家での様子等ご家族からの聞き取りを行っています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている。	33%	33%	33%	コロナウイルス感染症が流行している関係で中々懇親会・家族参加のレクリエーションを行うことが困難な現状です。感染症の流行状況によっては来年度に懇談会等取り入れていきたいと思っております。
保護者への説明責任等	32	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%			契約時に説明させて頂いております。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達計画の同意を得ている。	83%		17%	モニタリングの報告や個別支援計画の説明については児童発達支援管理責任者または担当職員が支援内容の説明をさせて頂いております。
	34	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っている。	67%		33%	定期的(9月、1月)に面談を行い後期・次年度の利用曜日の相談、要望などの話を伺っております。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により保護者同士の連携を支援している。		67%	33%	父母の会や保護者会等の活動の開催はありません。懇親会を通して保護者同士の交流の機会を計画していましたが、コロナ禍で出来ていません。状況を見ながら計画していきたいと思っております。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備すると共に、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	67%		33%	保護者からの相談や申し入れに関しては、施設のマニュアルに基づき対応しております。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	100%			月に一度クラスだよりを発行をし、配布しております。
	38	個人情報の取り扱いに十分注意している。	100%			契約時に個人情報同意書の説明をさせて頂き、承諾を得ております。また、職員は個人情報の規定に基づき十分注意をしております。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	100%			児童に関しては絵や写真を用いて活動をしております。保護者の方に関しては日頃の姿だけでなく、クラスだよりを通じて情報が伝わるようにしています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。	50%		50%	地域の方に施設を知って頂く為に、年に一度夏祭りで施設を開放しておりましたが、コロナ禍で今年度出来ていません。
	非常時等の対応	41	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知すると共に、発生を想定した訓練を実施している。	83%		17%
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	100%			防災計画に基づき、訓練を行っております。今年度は避難を想定した訓練を行いました。来年度の訓練等につきましては、現在計画中で様々な災害に備えた訓練を計画しております。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している。	100%			主治医による診療情報提供書にて状況の確認をしております。
44		食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づき対応がされている。	100%			基本的に契約前の保護者からの聞き取りにてアレルギーの有無を確認しております。必要に応じては管理栄養士が介入をしております。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	100%			法人で定められているヒヤリハットを作成し、職員間で検討・対応策を周知しております。
46		虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%			定期的に虐待防止の研修会に参加し、伝達研修を行っております。
47		どのような場面にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画に記載している。	100%			身体拘束に関する同意書の運用マニュアルに基づき、契約時と年2回の見直し、利用日には身体拘束記録に個別計画内容に沿ってチェックを行っております。計画内容に挙げてない拘束が必要時には電子カルテに入力します。

\* 事業所における自己評価結果 \*

放課後等デイサービス

	チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点/課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が機能訓練室等スペースとの関係が適切である。	100%			法令を遵守したスペースを確保しています。活動内容より安全に配慮しながらスペースの有効活用に取り組んでいきます。
	2 職員の配置数は適切である。	17%	67%	17%	職員配置基準は順守していますが、医療ケア度が高く、常時見守りが必要な子どもたちも多いため、常勤職員確保や研修による職員のスキルアップ等で対応に努めます。しかし、日時によっては人員配置基準を上回る対応が求められる場面もあるため、そのような時間帯への職員増に努めます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている。	83%	17%		フロアはバリアフリー化されており、バギーや車椅子に乗車したまま過ごすことができます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している。	67%	17%	17%	法人内のQC活動への参加等、業務改善への取り組みを行っています。
	5 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	83%		17%	平成31年より年1回保護者向けアンケート調査を実施しました。貴重なご意見ありがとうございました。今後ご意見、ご要望にお応えできるよう業務改善に取り組んでいきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所に会報やホームページ等で公開している。	83%		17%	令和5年3月にホームページにて公表を予定しております。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	50%	33%	17%	第三者による外部評価ではありませんが、内部による自己評価を行っております。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	100%			内部研修・外部研修と様々な研修があり、定期的に参加しています。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	83%		17%	定期的にあセスメントを行い、個別支援計画の作成をしております
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	33%	17%	50%	発達検査などのアセスメントツールは活用しておりません。しかし、リハビリを利用されている方に関しては情報共有をさせて頂き、発達支援の参考にしております。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている。	17%	33%	50%	保育士・児童指導員と共に1ヶ月の活動計画を立てた後、週案にて日々の活動計画を立てて実践しております。
	12 活動プログラムが固定化されないよう工夫している。	67%		33%	活動のテーマが同じでも、一人一人の姿に合わせて活動内容の充実を図っております。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定して支援している。	33%	17%	50%	平日、休日はサービス提供時間に変更はないのでそれぞれに応じた課題の設定はありません。しかし、個別活動は固々に設定しております。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している。	50%		50%	個別活動では、生活に必要なことを身につけることを目標にしており、一人一人の発達段階を把握しながら個別支援計画を作成しております。
	15 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している。	67%	17%	33%	朝のミーティングにて当日の支援の内容や役割分担について確認した後、支援業務を開始しております。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している。	50%		50%	その日ではなく業務の都合上、翌日の朝のミーティングにて共有や振り返りをしています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%			個別の記録や健康管理については電子カルテにて記載しております。また、集団活動に関しては週案にて記録をし、支援の検証・改善に努めております。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービスの見直しの必要性を判断している。	100%			定期的にモニタリングは行っております。子どもの発達状況や移行への状況によっては見直しの時期を見直す場合があります。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている。	17%	17%	67%	創作活動や余暇の提供など様々な活動を組み合わせ支援を行っております。	
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	83%		17%	サービス担当者会議は児童発達支援管理責任者、もしくは個別支援計画を担当している職員が出席しております。医療的ケアのある場合には看護師も出席しております。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡等）を適切に行っている。	67%		33%	豊橋特別支援学校・岡崎特別支援学校に関しては、年1回説明会がありますので、参加をし下校時間や連携方法の確認をしております。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている。	83%		17%	医療的ケアが必要な子どもだけでなく、主治医の定期受診がある方に関しては、利用前に診療情報提供書の提出をお願いしており、場合によっては連絡を取るなどの体制を整えております。
	23 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	50%		50%	移行支援におきましては保護者の方の了解を得た後に他事業所の児童発達支援管理責任者や相談支援専門員等との連携を図っております。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している。	17%		83%	家族の同意を得た上で、サービス担当者会議を通して支援内容等の情報提供を行っております。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	33%		67%	月に1度豊川市児童発達支援事業所の会議があり、情報交換や勉強会などを行っておりますが、コロナ禍で今年度は出席しておりません。必要時には担当者から報告を受けております。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある。		83%	17%	保育園や幼稚園等で活動として交流するのは、感染症へのリスクやサービス提供時間上では難しいです。しかし信愛には職員対象ではありますが施設内保育所がありますので、今後は保育所の子もたちとの交流を検討していきたいと思っております。
	27 (自立支援)協議会等へ積極的に参加している。		50%	50%	今年度はコロナ禍で会の縮小されて参加していませんが、必要時には担当者からの報告を受けて降ります。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%			来所時や退所時、連絡帳を通じて1日の様子をお伝えしています。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている。	17%	67%	33%	今年度から懇親会を開催し、保護者交流の場を始めました。来年度も保護者の方々の交流を通して子育てに関する悩みなどを相談・共有できる場を設けられればと考えております。

保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%			契約時に説明させて頂いております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っている。	100%			来所時や退所時、連絡帳を通じて1日の様子をお伝えしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により保護者同士の連携を支援している。		33%	67%	父母の会や保護者会等の活動の快哉はありませんが、懇親会を通して保護者同士の交流の機会はあります
	33	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備すると共に、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	100%			保護者からの相談や申し入れに関しては、施設のマニュアルに基づき対応しております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	100%			月に一度クラスだよりを発行し、配布しております。
	35	個人情報に十分注意している。	100%			契約時に個人情報同意書の説明をさせて頂き、承諾を得ております。また、職員は個人情報の規定に基づき十分注意をしております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	100%			児童に関しては絵や写真を用いて活動をしております。保護者の方に関しては日頃の姿だけでなく、クラスだよりを通じて情報が伝わるようにしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている。		50%	50%	地域の方に施設を知って頂く為に、年に一度夏祭り等で施設を開放しております。
非常時等の対応	38	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知すると共に、発生を想定した訓練を実施している。	67%	17%	17%	各種のマニュアルはありますが、今年度は放課後等デイサービス利用者を対象とした訓練を行いました。来年度の訓練につきましては検討中につき、決まり次第お伝えします。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	100%			防災計画に基づき、訓練を行っております。今年度は避難を想定した訓練を行いました。来年度の訓練等につきましては、現在計画中ですが様々な災害に備えた訓練を計画しております。
	40	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされている。	100%			基本的に契約前の保護者からの聞き取りにてアレルギーの有無を確認しております。場合によっては管理栄養士が介入をしております。
	41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	100%			法人で定められているヒヤリハットを作成し、職員間で検討・対応策を周知しております。
	42	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%			定期的に虐待防止の研修会に参加し、伝達研修を行っております。
	43	どのような場面にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画に記載している。	100%			身体拘束に関する同意書の運用マニュアルに基づき、契約時その後は6ヶ月毎の見直し、利用日には身体拘束記録に個別計画内容に沿ってチェックを行っております。計画内容に挙げてない拘束が必要時には電子カルテに入力します。